

(12) 特許協力条約に基づいて公開された国際出願

(19) 世界知的所有権機関
国際事務局

(43) 国際公開日
2014 年 1 月 30 日(30.01.2014)



(10) 国際公開番号

WO 2014/016964 A1

- (51) 国際特許分類:
B65D 5/66 (2006.01)
- (21) 国際出願番号: PCT/JP2012/069217
- (22) 国際出願日: 2012 年 7 月 27 日(27.07.2012)
- (25) 国際出願の言語: 日本語
- (26) 国際公開の言語: 日本語
- (71) 出願人 (米国を除く全ての指定国について): 日本
たばこ産業株式会社 (JAPAN TOBACCO INC.)
[JP/JP]; 〒1058422 東京都港区虎ノ門二丁目 2 番
1 号 Tokyo (JP).
- (72) 発明者: および
- (75) 発明者/出願人 (米国についてのみ): 国分 靖
(KOKUBUN, Yasushi) [JP/JP]; 〒1308603 東京都墨
田区横川一丁目 1 7 番 7 号 日本たばこ産業株
式会社内 Tokyo (JP).
- (74) 代理人: 川口 嘉之, 外(KAWAGUCHI, Yoshiyuki
et al.); 〒1030004 東京都中央区東日本橋 3 丁目 4
番 1 0 号 アクロポリス 2 1 ビル 6 階 Tokyo
(JP).

- (81) 指定国 (表示のない限り、全ての種類の国内保
護が可能): AE, AG, AL, AM, AO, AT, AU, AZ, BA,
BB, BG, BH, BN, BR, BW, BY, BZ, CA, CH, CL, CN,
CO, CR, CU, CZ, DE, DK, DM, DO, DZ, EC, EE, EG, ES,
FI, GB, GD, GE, GH, GM, GT, HN, HR, HU, ID, IL, IN,
IS, JP, KE, KG, KM, KN, KP, KR, KZ, LA, LC, LK, LR,
LS, LT, LU, LY, MA, MD, ME, MG, MK, MN, MW, MX,
MY, MZ, NA, NG, NI, NO, NZ, OM, PE, PG, PH, PL, PT,
QA, RO, RS, RU, RW, SC, SD, SE, SG, SK, SL, SM, ST,
SV, SY, TH, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA, UG, US, UZ,
VC, VN, ZA, ZM, ZW.
- (84) 指定国 (表示のない限り、全ての種類の広域保
護が可能): ARIPO (BW, GH, GM, KE, LR, LS, MW,
MZ, NA, RW, SD, SL, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), ユーラシ
ア (AM, AZ, BY, KG, KZ, RU, TJ, TM), ヨーロッパ
(AL, AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR,
GB, GR, HR, HU, IE, IS, IT, LT, LU, LV, MC, MK, MT,
NL, NO, PL, PT, RO, RS, SE, SI, SK, SM, TR), OAPI
(BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, ML, MR,
NE, SN, TD, TG).

添付公開書類:

— 国際調査報告 (条約第 21 条(3))

(54) Title: TONGUE-LID PACKAGE

(54) 発明の名称: タングリッド型パッケージ

[図2]

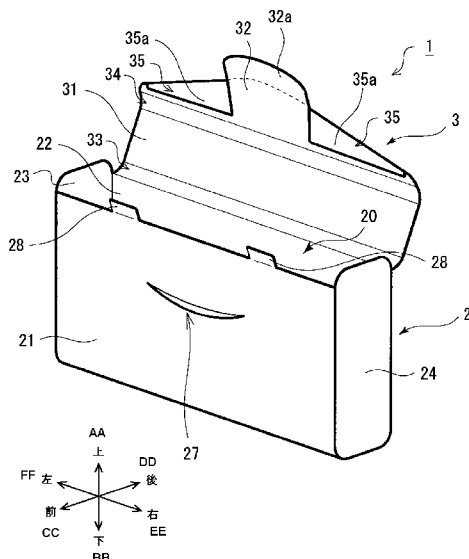


FIG. 2
AA Up
BB Down
CC Front
DD Rear
EE Right
FF Left

(57) Abstract: A tongue-lid package (1) is equipped with a case body (2) having an opening surface (20), and a tongue-lid (3) having both a lid (31) for covering the opening surface (20) so as to be capable of opening/closing the same, and connected to the rear edge of the opening surface (20), and a tongue (32) connected to the lid (31). When the tongue-lid (3) is closed, the tongue-lid package (1) allows an insertion piece (32a) formed on a front wall (21) or on the tongue (32) to be inserted into an insertion opening (27) formed on the other thereof. Furthermore, a fold-back piece (35) formed on the tongue (32) and an engaging tongue part (28) formed on the front wall (21) engage with one another during the process of the insertion piece (32a) being inserted into the insertion opening (27) when closing the tongue-lid (3).

(57) 要約: タングリッド型パッケージ 1 は、開口面 20 を有するケース本体 2 と、開口面 20 の後縁に連設されるとともに開口面 20 を開閉自在に覆うリッド 31 及びリッド 31 に連設されたタング 32 を有するタングリッド 3 とを備える。タングリッド型パッケージ 1 は、タングリッド 3 が閉じられる際に、前壁 21 とタング 32 の何れか一方に形成された差し込み開口部 27 に対して他方に形成された差し込み片 32a が差し込み可能である。更に、タング 32 に形成された折り返し片 35 と前壁 21 に形成された係止舌片 28 とが、タングリッド 3 が閉じられる際に差し込み片 32a が差し込み開口部 27 に差し込まれる過程で互いに係合する。

WO 2014/016964 A1

明 細 書

発明の名称 : タングリッド型パッケージ

技術分野

[0001] 本発明は、タングリッド型パッケージに関する。

背景技術

[0002] 従来、シガレットやフィルタシガレット等の棒状喫煙物品を収容するボックスタイプのハードパッケージの1形態として、ヒンジリッド型パッケージが広く知られている。この種のヒンジリッド型パッケージは、リッドも箱形をなしているのが一般的であるが、この箱形リッドに代えてタングリッドを備えたタングリッド型パッケージも知られている（例えば、特許文献1を参照）。

[0003] タングリッド型パッケージのタングリッドは、通常、ケース本体の開口面の縁部に折り込み線を介して接続されており、この開口面を開閉可能に覆うリッドと、このリッドから折り込み線を介して接続されるタングとを有する。タングリッド型パッケージの一例として、ケース本体の前壁には、リッドによって開口面を覆う際に、タングの先端側に形成された差し込み片を差し込み可能な差し込み口が設けられているものが知られている。

先行技術文献

特許文献

[0004] 特許文献1：特許第3 1 3 1 4 0 5 号公報

発明の概要

発明が解決しようとする課題

[0005] タングリッド型パッケージは、1枚のブランクから形成可能であり、資源の有効利用を図る点で優れている。しかしながら、タングリッド型パッケージは、通常、リッドとケース本体との接続部及びリッドとタングとの接続部に折り込み線が介在しており、折り込まれたブランクが元に戻ろうとする復元力によって、差し込み口から差し込み片が抜け出し易く、蓋閉まり性が悪

化する虞がある。

[0006] 本発明は、このような課題に鑑みてなされてものであって、その目的は、従来に比べて蓋閉まり性の優れたタングリッド型パッケージに関する技術を提供することにある。

課題を解決するための手段

[0007] 上記課題を解決するために、本発明に係るタングリッド型パッケージは、以下の手段を採用した。すなわち、本発明に係るタングリッド型パッケージは、開口面を有するとともに内部に物品を収容可能なケース本体と、前記開口面の後縁に連設されるとともに該開口面を開閉自在に覆う蓋部、及び、前記蓋部に連設された舌部を有するタングリッドと、を備え、前記タングリッドが閉じられる際に、前記ケース本体の前壁と前記舌部の何れか一方に形成された差し込み口に対して他方に形成された差し込み片が差し込み可能に形成されており、前記舌部及び前記前壁の双方に形成されて、前記タングリッドが閉じられる際に前記差し込み片が前記差し込み口に差し込まれる過程で互いに係合する係合部を更に備える。

[0008] 本発明に係るタングリッド型パッケージは、差し込み口がケース本体の前壁に設けられる場合にはタングリッドの舌部に差し込み片が設けられ、差し込み口がタングリッドの舌部に設けられる場合にはケース本体の前壁に差し込み片が設けられる。

[0009] 本発明に係るタングリッド型パッケージによれば、タングリッドが閉じられる際に差し込み片が差し込み口に差し込まれる過程において、ケース本体における前壁と舌部の双方に形成された係合部が互いに係合するため、差し込み片が差し込み口から不用意に抜け出すことを抑制できる。従って、タングリッド型パッケージの蓋閉まり性を従来に比べて向上させることが可能となる。なお、前記係合部は、前記前壁側に設けられた係止片と、前記舌部側に設けられた係止片の組み合わせにより構成されていてもよい。タングリッドを閉じる際に、ケース本体の前壁側に設けられた係止片と、舌部側に設けられた係止片とが掛り止められることで互いにロックされ、差し込み片が差

し込み口から不用意に抜け出すことを好適に抑制できる。

[0010] また、タングリッド型パッケージにおいて、前記蓋部と前記開口面の後縁との境界部、及び、前記蓋部と前記舌部との境界部のうち少なくとも一方はラウンドコーナーであってもよい。また、前記ケース本体のうち、前記開口面の後縁に沿った幅方向の寸法が、該幅方向に直交して且つ前記前壁に沿った高さ方向の寸法に比べて大きくてもよい。前者の場合、パッケージを形成するために折り込まれたブランクが元の形状に戻ろうとする復元力が大きくなりやすく、差し込み口から差し込み片が抜け出しやすい条件といえる。後者の場合、ケース本体の前壁に形成された差し込み口（或いは、差し込み片）と前壁上端との寸法を十分に確保しにくく、この場合もやはり差し込み口から差し込み片が抜け出しやすい条件といえる。このように蓋閉まり性が悪化しやすい条件下においても、本発明に係るパッケージによれば、タングリッドが閉じられる際に差し込み片が差し込み口に差し込まれる過程で互いに係合する係合部を備えるようにしたので、不用意に差し込み口から差し込み片が抜け出すことを抑制できる。

[0011] なお、タングリッド型パッケージに収容する被収容物は特に限定されるものではないが、例えば、たばこ商品を被収容物として好適に例示できる。たばこ商品としては、例えば紙巻たばこ（フィルタシガレット、両切たばこ（フィルタ無し））、シガー（葉巻）、電子たばこ、噛みたばこ、嗅ぎたばこ等が例示できる。また、タングリッド型パッケージは、例えば菓子、ガム等を収容するパッケージであってもよい。

[0012] また、本発明における課題を解決するための手段は、可能な限り組み合わせ採用することができる。

発明の効果

[0013] 本発明によれば、従来に比べて、タングリッド型パッケージにおける蓋閉まり性を向上させることができる。

図面の簡単な説明

[0014] [図1]第1実施形態に係るパッケージ1の斜視図である。

[図2]第1実施形態に係るパッケージ1の斜視図である。

[図3]ケース本体内に收容されるインナパックを示す図である。

[図4]パッケージのタングリッドが開かれた状態から閉じられるまでの各状態を説明する図である。

[図5]第1実施形態に係るパッケージを形成するブランクの展開図である。

[図6]第2実施形態に係るパッケージの斜視図である。

[図7]第2実施形態に係るパッケージの斜視図である。

[図8]第2実施形態に係るパッケージを形成するブランクの展開図である。

発明を実施するための形態

[0015] 以下、本発明に係るタングリッド型パッケージ（以下、単に“パッケージ”という）の実施形態について、図面に基づいて説明する。本発明が適用されるパッケージに收容する被收容物は特定のものに限定されないが、この実施形態ではシガレットをパッケージに收容する場合を例に説明する。

[0016] 〈第1実施形態〉

図1及び図2は、第1実施形態に係るパッケージ1の斜視図であり、パッケージ1を正面右斜め側から眺めた状態を示している。パッケージ1は、ケース本体2及びタングリッド3を備えている。ケース本体2は上面が開口されている。符号20は、ケース本体2の上端に形成された開口面を示している。タングリッド3は、ケース本体2の開口面20の後縁に連設されており、開口面20を開閉する蓋部材である。図1に示す状態においてタングリッド3が閉じられており、図2に示す状態においてタングリッド3が開かれている。なお、パッケージ1は、いわゆるクラッチバッグの形状を有しており、クラッチバッグ型パッケージともいえる。

[0017] ケース本体2は、略直方体形状を有した箱体であり、その内部には図3に示すようにシガレットの包装体（以下、「インナパック」という）4が收容されている。インナパック4は、シガレット（図示せず）の束を、内包材5により包み込んだものである。内包材5は、例えば矩形状を有するシート状のアルミニウム蒸着紙であり、紙基材と、その表面に蒸着されたアルミニウ

ムの膜とを含んで形成されている。図3に示す5 a, 5 bは、内包材5の外周縁同士を重ね合わせて折り込むことによって形成された台形状の一对のサイドフラップである。本実施形態では、シガレットにおける長手方向の端部ではなく、その周面にサイドフラップ5 a, 5 bが面して配置されるようにシガレットの束を内包材5によって包みこむ。これによれば、消費者がシガレットを取り出す際に、内包材5にシガレットの端部を引っ掛かりにくくすることができる。なお、図3中に示す鎖線は、切り離し線を表したものである。インナパック4が収容されたパッケージ1を購入した消費者は、インナパック4における手前側のサイドフラップ5 aを摘んで引っ張り、切り離し線を境に切り離すことにより、シガレットを内包材5の外部に露出させることができる。

[0018] ケース本体2は、前壁2 1、後壁2 2、左側壁2 3、右側壁2 4、底壁2 5を有し、これらによって外形が画定されている。前壁2 1及び後壁2 2は同形状を有し、対向配置されている。これら前壁2 1及び後壁2 2は、左側壁2 3と右側壁2 4と底壁2 5とによって相互に連結されている。ここで、前壁2 1と底壁2 5との境界に位置する縁部2 6 a、後壁2 2と底壁2 5との境界に位置する縁部2 6 bはラウンド形状を有するラウンドコーナー（ラウンドエッジ）となっている。

[0019] 更に、ケース本体2の前壁2 1には、スリット状の差し込み開口部2 7が設けられている。差し込み開口部2 7は、前壁2 1の高さ方向中央よりも上側、すなわち開口面2 0寄りの部分に配置されている。ここで、図1及び図2に、パッケージ1における前後、上下、左右の各方向を示す。なお、図示の上下方向、左右方向、前後方向は、それぞれパッケージ1（ケース本体2）の高さ方向、幅方向、奥行方向に対応している。図1及び図2に示すように、差し込み開口部2 7は、前壁2 1の幅方向に沿って伸びている。なお、パッケージ1（ケース本体2）の幅方向は、開口面2 0の後縁に沿った方向の寸法である。また、パッケージ1（ケース本体2）の高さ方向は、上記幅方向に直交して且つ前壁2 1に沿った方向の寸法である。

[0020] ケース本体 2 の後壁 2 2 には、その上縁を折り込み線、すなわちセルフヒンジとしてタングリッド 3 が連結されている。タングリッド 3 は、後壁 2 2 側からリッド 3 1（蓋部）及びタング 3 2（舌部）を有している。これらリッド 3 1 とタング 3 2 とは、折り込み線を介して連なっている。言い換えると、リッド 3 1 とタング 3 2 とは、折り込み線を境にタングリッド 3 を区分している。以下、後壁 2 2 とリッド 3 1 との境界部をリッド折り込み部 3 3 と称し、リッド 3 1 とタング 3 2 との境界部をタング折り込み部 3 4 と称する。本実施形態において、リッド折り込み部 3 3 とタング折り込み部 3 4 とは、共にラウンド形状を有するラウンドコーナーとなっている。

[0021] リッド 3 1 は、ケース本体 2 の開口面 2 0 に対応する形状及び大きさを有しており、開口面 2 0 の後縁に連設されることで開口面 2 0 を開閉自在に覆うことができる蓋部材である。タング 3 2 は、リッド 3 1 と同一の幅を有して一旦伸びた後、その幅が徐々に狭まる形状となっている。タング 3 2 の先端側には、差し込み片 3 2 a が突出するように形成されている。差し込み片 3 2 a の幅は、ケース本体 2 における前壁 2 1 に設けられた差し込み開口部 2 7 よりも若干小さな寸法となっている。

[0022] 図 1 に示すように、タングリッド 3 が閉じられる際には、タング 3 2 は、ケース本体 2 の前壁 2 1 に重なり合うとともに、タング 3 2 の差し込み片 3 2 a が差し込み開口部 2 7 に差し込まれる。これにより、ケース本体 2 の開口面 2 0 をリッド 3 1 が塞ぎ、パッケージ 1 に収容されている被収容物であるシガレットへのアクセスが規制されることになる。

[0023] ところで、図 1 及び図 2 に示すように、本実施形態に係るパッケージ 1 は、シガレットの長手方向がパッケージ 1 の幅方向に対応するようにインナパック 4 をケース本体 2 に収容する仕様となっている。そのため、パッケージ 1（ケース本体 2）は、その幅寸法が高さ寸法よりも大きい。また、図 1 及び図 2 において図示を省略しているが、通常、ケース本体 2 には、宣伝、広告、その他の目的のために、文字、絵柄、写真等などが印刷されている。特に、ケース本体 2 の前壁 2 1 は、他の面に比べて消費者の目にも留まりやす

いため、前壁 2 1 において、より大きな面積を文字、絵柄等の印刷スペースとして確保したいという要請がある。

[0024] ここで、パッケージ 1 はタングリッド型のパッケージであるため、ケース本体 2 の前壁 2 1 における宣伝、広告等の情報表示スペースは、差し込み開口部 2 7 よりも下方になる。前壁 2 1 における差し込み開口部 2 7 の上方部位は、タングリッド 3 が閉じられた際にタング 3 2 の下に隠れてしまうからである。従って、ケース本体 2 の前壁 2 1 における情報表示スペースをより多く確保する観点から、差し込み開口部 2 7 を前壁 2 1 の上部位置、すなわち開口面 2 0 に比較的近い箇所に設けざるを得ないことが多い。本実施形態のパッケージ 1 においても、差し込み開口部 2 7 が前壁 2 1 の高さ方向中央よりも上端側（すなわち、開口面 2 0 側）の位置に設けられている。

[0025] 更に、本実施形態に係るパッケージ 1 は、シガレットの長手方向がケース本体 2 の幅方向に一致するようにインナパック 4 を収納するため、シガレットの長手方向をケース本体 2 の高さ方向に一致させる場合に比べて、前壁 2 1 の高さ寸法自体が小さくなる。そうすると、リッド折り込み部 3 3 及びタング折り込み部 3 4 において発生するブランクの復元力、より詳しくはブランクが折り込まれる前の元の形状に戻ろうとする復元力が、タングリッド 3 に対して作用することにより、差し込み開口部 2 7 から差し込み片 3 2 a が抜け出しやすくなる。つまり、タングリッド 3 が不用意に開いてしまうという状況が起こり易くなる。

[0026] そこで、本実施形態に係るパッケージ 1 においては、上記不具合を抑制し、蓋閉まりを良くするためのロック構造 6 を備えている。ロック構造 6 は、タング 3 2 と前壁 2 1 との各々に形成される係合部によって形成され、この係合部同士の係合によって差し込み開口部 2 7 からの差し込み片 3 2 a の抜け出しを抑制するものである。

[0027] ロック構造 6 は、ケース本体 2 における前壁 2 1 に設けられた係止舌片 2 8（係止片）と、タング 3 2 の内側に設けられた折り返し片 3 5（係止片）との組み合わせによって構成されている。係止舌片 2 8 は、前壁 2 1 の上縁

から突出している矩形状の舌片である。図 1 及び図 2 に示す例においては、前壁 2 1 の上縁の 2 箇所に係止舌片 2 8 が設けられている。

[0028] 折り返し片 3 5 は、タング 3 2 の先端側を折り返し、その折り返された部分の両端側を対向するタング 3 2 内面に部分的に接着することで形成されている。本実施形態における折り返し片 3 5 は、差し込み片 3 2 a の両側に形成されている。また、各折り返し片 3 5 のうち、パッケージ 1 の幅方向において前壁 2 1 に設けられた係止舌片 2 8 に対応する部位（以下、「フラップ係合部」という）3 5 a はタング 3 2 内面と接着されず、両端部分がタング 3 2 内面と接着されている。これにより、折り返し片 3 5 におけるフラップ係合部 3 5 a とタング 3 2 内面との間には、タングリッド 3 が閉じられた際に係止舌片 2 8 が挟み込まれる程度の所定の隙間が形成される。本実施形態のパッケージ 1 においては、タングリッド 3 を閉じる際に互いに係合する 2 対の折り返し片 3 5 と係止舌片 2 8 とを備えているが、その数は特に限定されない。

[0029] 次に、図 4 を参照して、パッケージ 1 を閉じる際の動作状況について説明する。図 4 は、パッケージ 1 のタングリッド 3 が開かれた状態から閉じられるまでの各状態を示している。左側から右側に向かって第 1 ～第 4 状態を示している。なお、図 4 に示すパッケージ 1 の断面は、図 1 の A - A 断面に対応している。

[0030] 図 4 に示す第 1 状態は、パッケージ 1 が開かれた状態を示している。また、第 1 状態において、係止舌片 2 8 は、前壁 2 1 の上縁から上方に向かって突出している。

[0031] 次に、扱い者は、パッケージ 1 を閉じるべく、タングリッド 3 の閉じ動作を行う。タングリッド 3 の閉じ動作が開始されると、タング 3 2 に設けられた折り返し片 3 5 の外面 3 5 b が前壁 2 1 の上縁に設けられた係止舌片 2 8 の内面 2 8 a に当接する第 2 状態へと移行する。係止舌片 2 8 の内面 2 8 a は、係止舌片 2 8 のうち、ケース本体 2 における開口面 2 0 を臨む方の面である。

[0032] 第2状態においては、タングリッド3の閉じ動作に伴い、折り返し片35の外面35bが係止舌片28の内面28aに押し付けられる。これにより、係止舌片28の姿勢は、前壁21の上縁との接続基端部を境にケース本体2前方に向かって傾倒する。このように、折り返し片35によって係止舌片28を前壁21方向に押し付けつつ、タング32の差し込み片32aが差し込み開口部27に差し込まれると、第3状態となる。第3状態では、第2状態に比べて折り返し片35による係止舌片28の押し付け度合いが更に進展している。

[0033] そして、差し込み開口部27に対する差し込み片32aの差し込み量（長さ）が増加していくと、折り返し片35の外面35bが係止舌片28の内面28aを乗り越えることで第4状態となる。つまり、差し込み片32aが差し込み開口部27に差し込まれる過程で折り返し片35と係止舌片28とが互いに係合する。このように、第4状態においては、折り返し片35と係止舌片28とが互いに係止されることでロック状態になると共に、リッド31によって開口面20が塞がれることでパッケージ1が閉状態となる。また、係止舌片28が折り返し片35を乗り越える際、すなわち、折り返し片35と係止舌片28とが互いに係止されることでロック状態になる際には、係止舌片28が折り返し片35に弾かれることにより音が鳴る。このように、折り返し片35と係止舌片28とが互いに係止される際に発生する音によって、使用者はパッケージ1が確実に閉状態となったことを確認することができ、パッケージ1の使用感を向上させることができる。

[0034] 本実施形態に係るパッケージ1によれば、タングリッド3が閉じられた状態において、ケース本体2とリッド31との間のリッド折り込み部33や、リッド31とタング32との間のタング折り込み部34といった箇所が発生するブランクの復元力（反発力）がタングリッド3に作用しても、折り返し片35と係止舌片28とが相互に係止されることにより、タング32の差し込み片32aがケース本体2側の差し込み開口部27から抜け出すことを抑制できる。従って、タングリッド型のパッケージ1の蓋閉まり性を従来に比

べて向上させることが可能となる。

[0035] 特に、本実施形態に係るパッケージ 1 のように、リッド折り込み部 3 3 や タング折り込み部 3 4 がラウンド (r o u n d) 形状となっている場合には、スクエア (s q u a r e) 形状の場合に比べてブランクの復元力が大きい。更に、パッケージ 1 のように、シガレットの長手方向がケース本体 2 の幅方向に沿うようにインナパック 4 を収容する場合、前壁 2 1 においてヘルスワーニング等の表示スペースを確保する関係上、タング 3 2 の差し込み片 3 2 a を差し込むための差し込み開口部 2 7 の配置位置が前壁 2 1 の上縁近傍になりがちである。このような条件下においても、パッケージ 1 によれば、タングリッド 3 を閉じた際に互いに係合する折り返し片 3 5 と係止舌片 2 8 との組み合わせからなるロック構造 6 を具備することにより、タングリッド 3 が不用意に開かれてしまうことを抑制できる。

[0036] 図 5 は、本実施形態に係るパッケージ 1 を形成するブランク B 1 の展開図である。ブランク B 1 にはカード紙、マニラボール紙等の紙材を用いているが、これに限られるものではない。例えばプラスチックシートやアルミ蒸着紙を用いてブランク B 1 を製造してもよい。

[0037] ブランク B 1 は、ケース本体 2 の前壁 2 となる前壁パネル P 1 を有している。前壁パネル P 1 には、差し込み開口部 2 7 が形成されている。前壁パネル P 1 の両側には、ケース本体 2 の左側壁 2 3、右側壁 2 4 の一部となる左側壁パネル P 2、右側壁パネル P 3 が連なっており、前壁パネル P 1 の上端には底壁 2 5 となる底壁パネル P 4 が連なっている。この底壁パネル P 4 には、前壁パネル P 1 とは反対側に位置してケース本体 2 の後壁 2 2 となる後壁パネル P 5 が連なっている。また、底壁パネル P 4 の両端には、補強フラップ P 6、P 7 が連なっている。

[0038] 後壁パネル P 5 には、底壁パネル P 4 とは反対側に位置してリッド 3 1 となるリッドパネル P 8 が連なっている。また、後壁パネル P 5 の両側には、ケース本体 2 の左側壁 2 3 の残部となるインナサイドフラップ P 9 と、右側壁 2 4 の残部となるインナサイドフラップ P 1 0 とが連なっている。左側壁

パネルP 2、補強フラップP 6、及びインナサイドフラップP 9が互いに接着されて左側壁2 3を形成する。また、右側壁パネルP 3、補強フラップP 7、及びインナサイドフラップP 1 0が互いに接着されて右側壁2 4を形成する。

[0039] リッドパネルP 8の上端には、タング3 2となるタングパネルP 1 1が連なっている。このタングパネルP 1 1の先端側には、差し込み片3 2 aとなる差し込み片領域R 1が形成されている。また、タングパネルP 1 1における差し込み片領域R 1の両サイドには、折り返し片3 5となる折り返しフラップP 1 2, P 1 3が連なっている。また、前壁パネルP 1の下端には、係止舌片2 8となる2つのタブT 1, T 2が連なっている。

[0040] 図5に示すように、前壁パネルP 1と底壁パネルP 4との境界、底壁パネルP 4と後壁パネルP 5との境界、後壁パネルP 5とリッドパネルP 8との境界、リッドパネルP 8とタングパネルP 1 1との境界は、一点鎖線で示した複数の狭ピッチによる折り込み線が設けられており、この狭ピッチの折り込み線による折り込みによってラウンドコーナー（エッジ）が形成される。

[0041] 上記のように構成されるブランクB 1は、一点鎖線で示した折り込み線からそれぞれ折り込まれることで、ケース本体2及びタングリッド3が形成され、この折り込み成形によって、図1に示すようなパッケージ1が得られる。

[0042] より詳しくは、後壁パネルP 5にインナパック4が載置され、この状態でインナパック4に対して底壁パネルP 4、補強フラップP 6, P 7、リッドパネルP 8、インナサイドフラップP 9, 1 0、前壁パネルP 1の折り込みがなされる。そして、左側壁パネルP 2、補強フラップP 6、及びインナサイドフラップP 9が互いに接着され、かつ、右側壁パネルP 3、補強フラップP 7、及びインナサイドフラップP 1 0が互いに接着される。更に、タングパネルP 1 1に対して折り返しフラップP 1 2, P 1 3の折り込みがなされ、折り返しフラップP 1 2, P 1 3の両端部がタングパネルP 1 1に対して接着される。なお、上記の例では左側壁パネルP 2、補強フラップP 6、

及びインナサイドフラップP 9を互いに接着する場合を説明したが、少なくとも左側壁パネルP 2とインナサイドフラップP 9とが接着されていればよく、補強フラップP 6が左側壁パネルP 2及びインナサイドフラップP 9と接着されていなくてもよい。同様に、右側壁パネルP 3、補強フラップP 7、及びインナサイドフラップP 10についても、少なくとも右側壁パネルP 3とインナサイドフラップP 10とが接着されていれば、補強フラップP 7が右側壁パネルP 3及びインナサイドフラップP 10と接着されていなくてもよい。

[0043] なお、折り返しフラップP 12, P 13のうち、タングパネルP 11と接着されない非接着領域によって、上述のフラップ係合部35aが形成される。このようにして、ケース本体2内にインナパック4を収容したパッケージ1を成形することができる。

[0044] 〈第2実施形態〉

次に、第2実施形態に係るパッケージ1Aを説明する。図6及び図7は、第2実施形態に係るパッケージ1Aの斜視図である。図8は、パッケージ1Aを形成するブランクB2の展開図である。ここで、第1実施形態に係るパッケージ1と同一の構成要素については同一符号を付すことにより、その詳しい説明を割愛する。以下、第2実施形態に係るパッケージ1Aについて、第1実施形態に係るパッケージ1との相違点を中心に説明する。

[0045] 図6にはタングリッド3が閉じた状態、図7にはタングリッド3が開かれた状態のパッケージ1Aを示している。第1実施形態に係るパッケージ1では、タングリッド3（タング32）の差し込み片32aを差し込むための差し込み開口部27が、前壁21に打ち抜き形成されていたが、第2実施形態ではケース本体2の前壁21に差し込み帯部材29が設けられている。

[0046] 差し込み帯部材29は、内側帯部材29a及び外側帯部材29bを有する。内側帯部材29aは、前壁21の上縁に連設されており、折り込み線から前壁21の上に折り返されている。内側帯部材29aのうち、前壁21上縁との接続端の反対側に位置する方の端部には、折り込み線を介して外側帯部

材 2 9 b が連設されている。外側帯部材 2 9 b は、折り込み線から内側帯部材 2 9 a に対して折り返されることで、内側帯部材 2 9 a の上に重ねられている。図 6 及び図 7 に示すように、外側帯部材 2 9 b は内側帯部材 2 9 a に比べてパッケージ 1 A の幅方向への寸法が大きく、その両側端部 2 9 c は前壁 2 1 に直接接着されている。

[0047] 更に、内側帯部材 2 9 a と外側帯部材 2 9 b との境界部には、スリット状の差し込み開口部 2 7 が開口しており、この差し込み開口部 2 7 にはタング 3 2 の差し込み片 3 2 a を差し込み可能となっている。より詳しくは、タングリッド 3 を閉じる際、タング 3 2 における差し込み片 3 2 a は、内側帯部材 2 9 a と外側帯部材 2 9 b との間に形成された隙間に差し込まれつつ、差し込み開口部 2 7 に挿通される。このようにして、差し込み開口部 2 7 に差し込み片 3 2 a が差し込まれることで、タングリッド 3 のリッド 3 1 によってケース本体 2 の開口面 2 0 が塞がれる。タングリッド 3 の閉じ操作がなされる際、折り返し片 3 5 と係止舌片 2 8 とが互いに係合することでロック状態になる。そのため、第 1 実施形態に係るパッケージ 1 と同様に、タング 3 2 の差し込み片 3 2 a がケース本体 2 側の差し込み開口部 2 7 から不用意に抜け出すことを抑制できる。

[0048] 図 8 に示すブランク B 2 は、前壁パネル P 1 の下端に、差し込み帯部材 2 9 の内側帯部材 2 9 a となる差し込み帯インナパネル P 1 4 が連なっている。この差し込み帯インナパネル P 1 4 には、前壁パネル P 1 とは反対側に位置して差し込み帯部材 2 9 の外側帯部材 2 9 b となる差し込み帯アウトパネル P 1 5 が連なっている。差し込み帯インナパネル P 1 4 と差し込み帯アウトパネル P 1 5 との間は折り込み線が形成されており、双方に跨るように開口部 R 2 が穿孔されている。図 8 に示す例では、開口部 R 2 は楕円形状を有し、その長軸位置が上記折り込み線の位置に一致している。但し、開口部 R 2 の形状は適宜変更することができる。更に、差し込み帯アウトパネル P 1 5 の幅寸法は、差し込み帯インナパネル P 1 4 の幅寸法よりも大きい。ここでいう幅寸法とは、組み立て後におけるパッケージ 1 A において幅方向に対

応する向きの寸法であり、差し込み帯インナパネルP 1 4と差し込み帯アウトパネルP 1 5との間の折り込み線に沿った方向の寸法である。

[0049] ブランクB 2においても、上述したブランクB 1と同様に、一点鎖線で示した折り込み線からそれぞれ折り込まれることで、ケース本体2及びタングリッド3が形成され、図6に示すようなパッケージ1 Aが得られる。差し込み帯インナパネルP 1 4は前壁パネルP 1の外側面に折り込まれる。そして、差し込み帯アウトパネルP 1 5は、差し込み帯インナパネルP 1 4の上に重ねられるようにして、折り込み線から折り込まれる。

[0050] 上述のように、差し込み帯アウトパネルP 1 5は差し込み帯インナパネルP 1 4よりも幅寸法が大きいため、差し込み帯アウトパネルP 1 5の両端部は前壁パネルP 1と直接重なり合う。本実施形態では、差し込み帯アウトパネルP 1 5のうち、前壁パネルP 1と直接に重なり合う部分（両端部分）を前壁パネルP 1に接着することで、ケース本体2の前壁2 1に差し込み帯部材2 9が固定されている。

[0051] なお、パッケージ1 Aの組み立て時において、差し込み帯インナパネルP 1 4と差し込み帯アウトパネルP 1 5とは互いに接着されない。そのため、差し込み帯インナパネルP 1 4と差し込み帯アウトパネルP 1 5の間には隙間が形成される。タングリッド3と閉じる際には、この隙間を利用して、差し込み片3 2 aが差し込み開口部2 7へとアクセスすることが可能となり、差し込み片3 2 aを差し込み開口部2 7に差し込むことができるようになる。以上のような折り込み成形によって、図6に示すパッケージ1 Aが完成する。

[0052] 以上のように構成されるパッケージ1 Aによれば、第1実施形態に係るパッケージ1と同等の効果を奏する。すなわち、タングリッド3が閉じた状態から不用意にタング3 2の差し込み片3 2 aがケース本体2側の差し込み開口部2 7から抜け出すことを抑制できるので、蓋閉まりの優れたパッケージ1 Aを提供することが可能である。

[0053] 〈変形例〉

以上、本発明の好適な実施形態を説明したが、上記実施形態には本発明の本旨を逸脱しない範囲において適宜の変更を加えることができる。例えば、上述の各実施形態におけるロック構造6は、ケース本体2の前壁21に設けられた係止舌片28とタング32に設けられた折り返し片35との組み合わせによって構成していたが、これに限られず、ロック構造6として種々の形態、構造を採用することができる。すなわち、ロック構造6は、前壁21及びタング32に各々形成されて且つ差し込み片32aが差し込み開口部27に差し込まれる過程において互いに係合する係合部を含んで構成することができる。ここで係合部は、係止片同士の組み合わせに限られず、例えば係止片とこの係止片と係合する係合孔との組み合わせであってもよい。

[0054] また、上述の各実施形態においては、タングリッド型のパッケージ1, 1Aとして、タングリッド3を閉じる際に、タングリッド3側に形成された差し込み片32aをケース本体2側に形成された差し込み開口部27に差し込む形態を採用しているが、差し込み片32aと差し込み開口部27とを相互に入れ替えて配置してもよい。すなわち、タングリッド3側に差し込み開口部27を形成し、タングリッド3を閉じる際に、ケース本体2側に形成された差し込み片32aを差し込み開口部27に差し込む形態を採用してもよい。また、上記実施形態では、タングリッド型のパッケージ1, 1Aは、リッド折り込み部33、タング折り込み部34、縁部26a、縁部26bがラウンド形状となっている場合を説明したが、上記コーナー部は平面状に面取りされていてもよく、また、スクエアであってもよい。

[0055] また、上述の各実施形態では、パッケージ1, 1Aに収容する被収容物の好適な適用例として、フィルタシガレットや両切シガレット等のシガレットを収容する場合を説明したが、これらには限定されず、例えば、シガー（葉巻）、電子たばこ、噛みたばこ、嗅ぎたばこ等を収容してもよい。また、たばこ商品に限らず、例えば菓子やガム等の物品をパッケージに収容してもよい。また、実施形態に記載されている構成要素の寸法、材質、形状、その相対配置等は、特に特定の記載がない限りは、発明の技術的範囲をそれらの

みに限定する趣旨のものではない。また、各実施形態およびその変形例は、可能な限り組み合わせて実施することができる。

符号の説明

[0056] 1, 1 A . . . タングリッド型パッケージ

2 . . . ケース本体

3 . . . タングリッド

4 . . . インナパック

6 . . . ロック構造

20 . . . 開口面

21 . . . 前壁

27 . . . 差し込み開口部

28 . . . 係止舌片

29 . . . 差し込み帯部材

31 . . . リッド

32 . . . タング

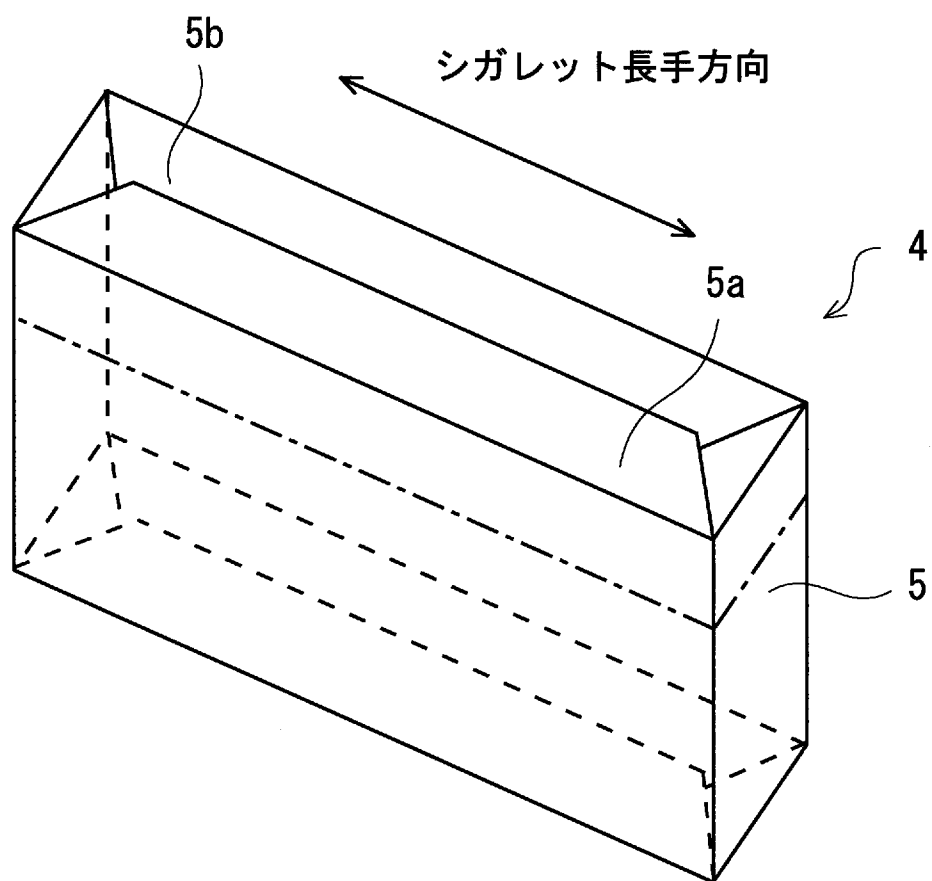
32 a . . . 差し込み片

35 . . . 折り返し片

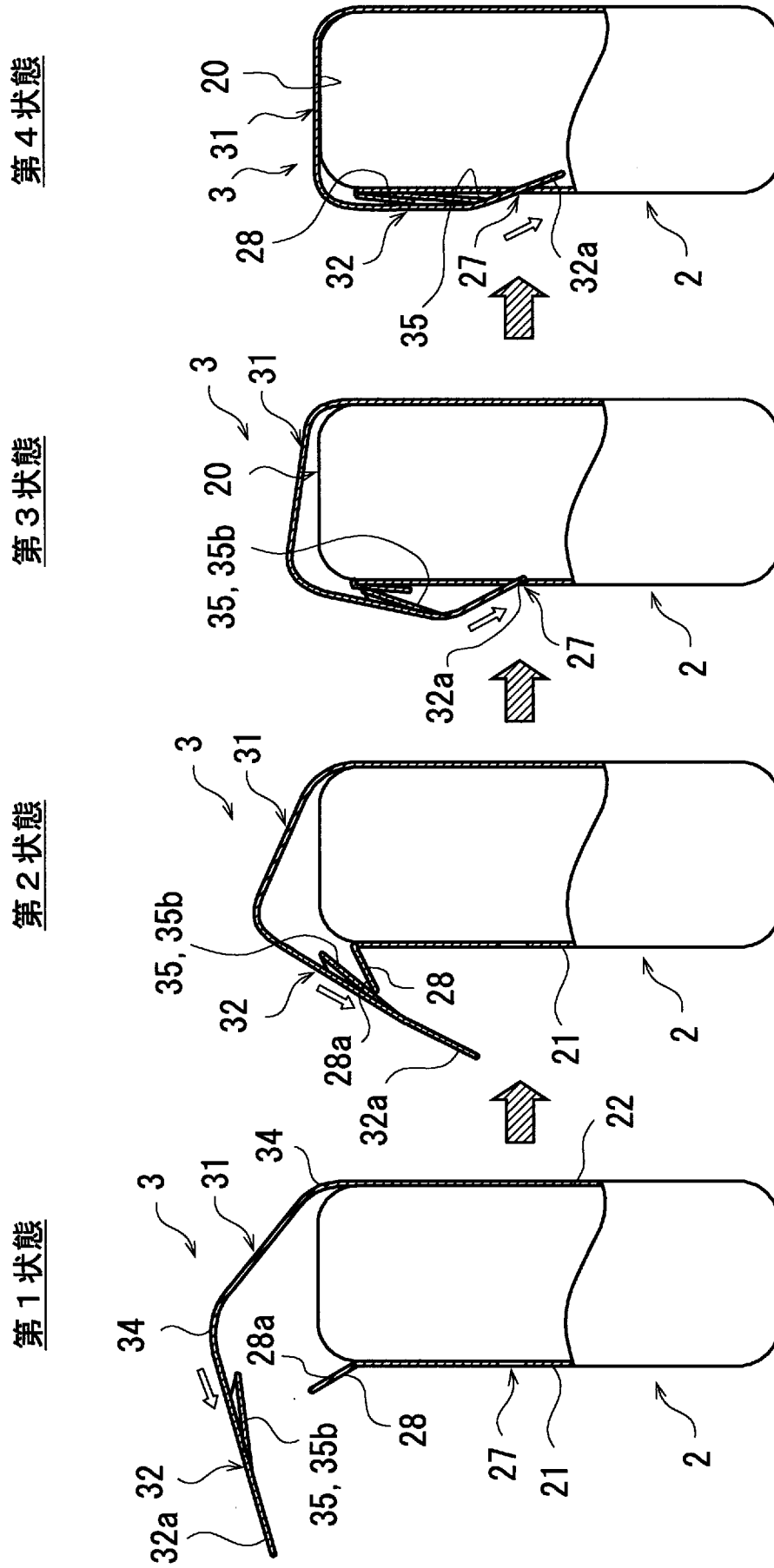
請求の範囲

- [請求項1] 開口面を有するとともに内部に物品を収容可能なケース本体と、
 前記開口面の後縁に連設されるとともに該開口面を開閉自在に覆う
 蓋部、及び、前記蓋部に連設された舌部を有するタングリッドと、
 を備え、
 前記タングリッドが閉じられる際に、前記ケース本体の前壁と前記
 舌部の何れか一方に形成された差し込み口に対して他方に形成された
 差し込み片が差し込み可能に形成されており、
 前記舌部及び前記前壁の双方に設けられ、前記タングリッドが閉じ
 られる際に前記差し込み片が前記差し込み口に差し込まれる過程で互
 いに係合する係合部を更に備える、タングリッド型パッケージ。
- [請求項2] 前記ケース本体において、前記開口面の後縁に沿った幅方向の寸法
 が、該幅方向に直交して且つ前記前壁に沿った高さ方向の寸法に比べ
 て大きい、請求項1に記載のタングリッド型パッケージ。
- [請求項3] 前記係合部は、前記前壁側に設けられた係止片と、前記舌部側に設
 けられた係止片の組み合わせにより構成されている、請求項1又は2
 に記載のタングリッド型パッケージ。
- [請求項4] 前記蓋部と前記開口面の後縁との境界部、及び、前記蓋部と前記舌
 部との境界部のうち少なくとも一方はラウンドコーナーである、請求
 項1から3の何れか一項に記載のタングリッド型パッケージ。

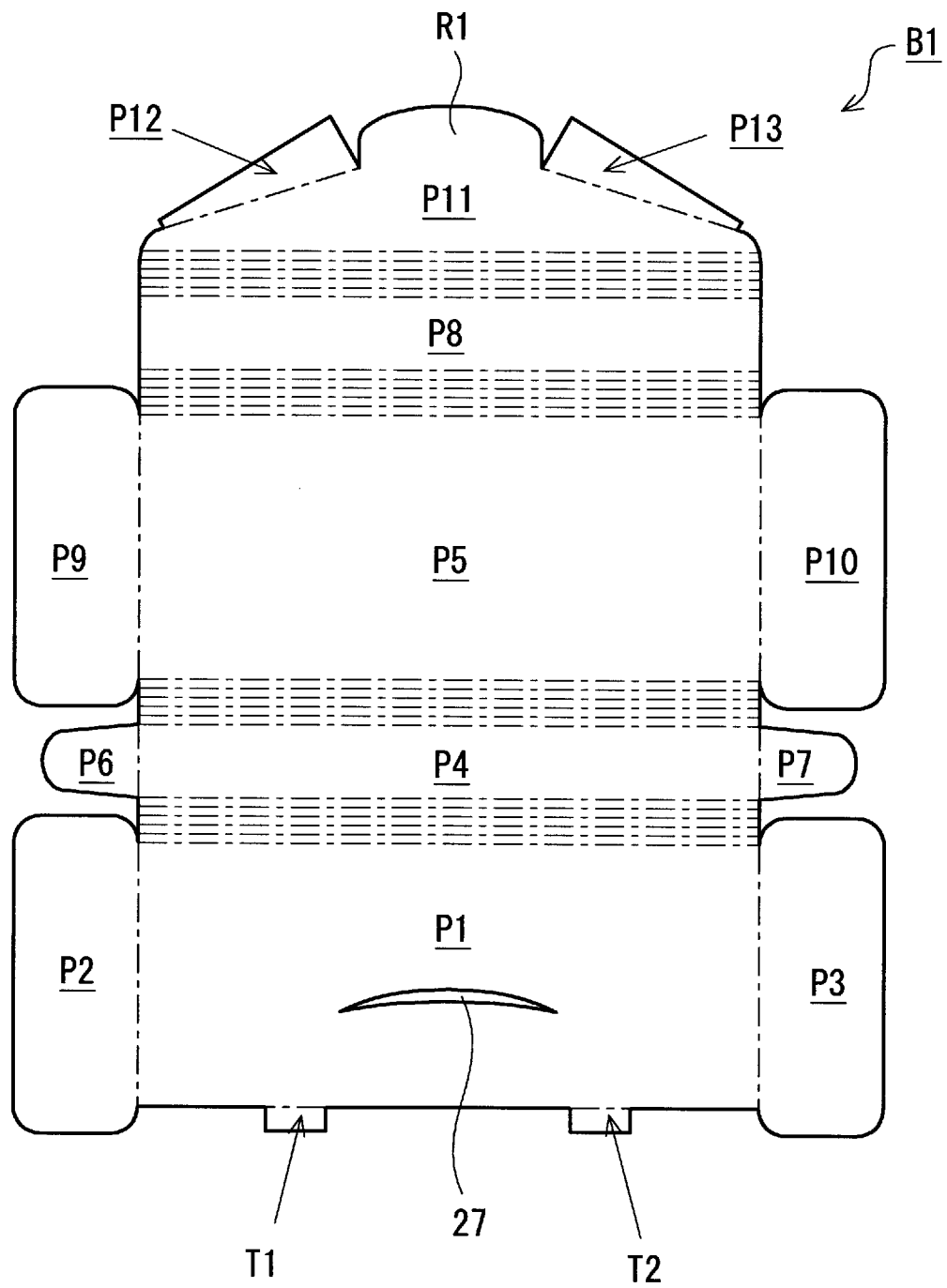
[図3]



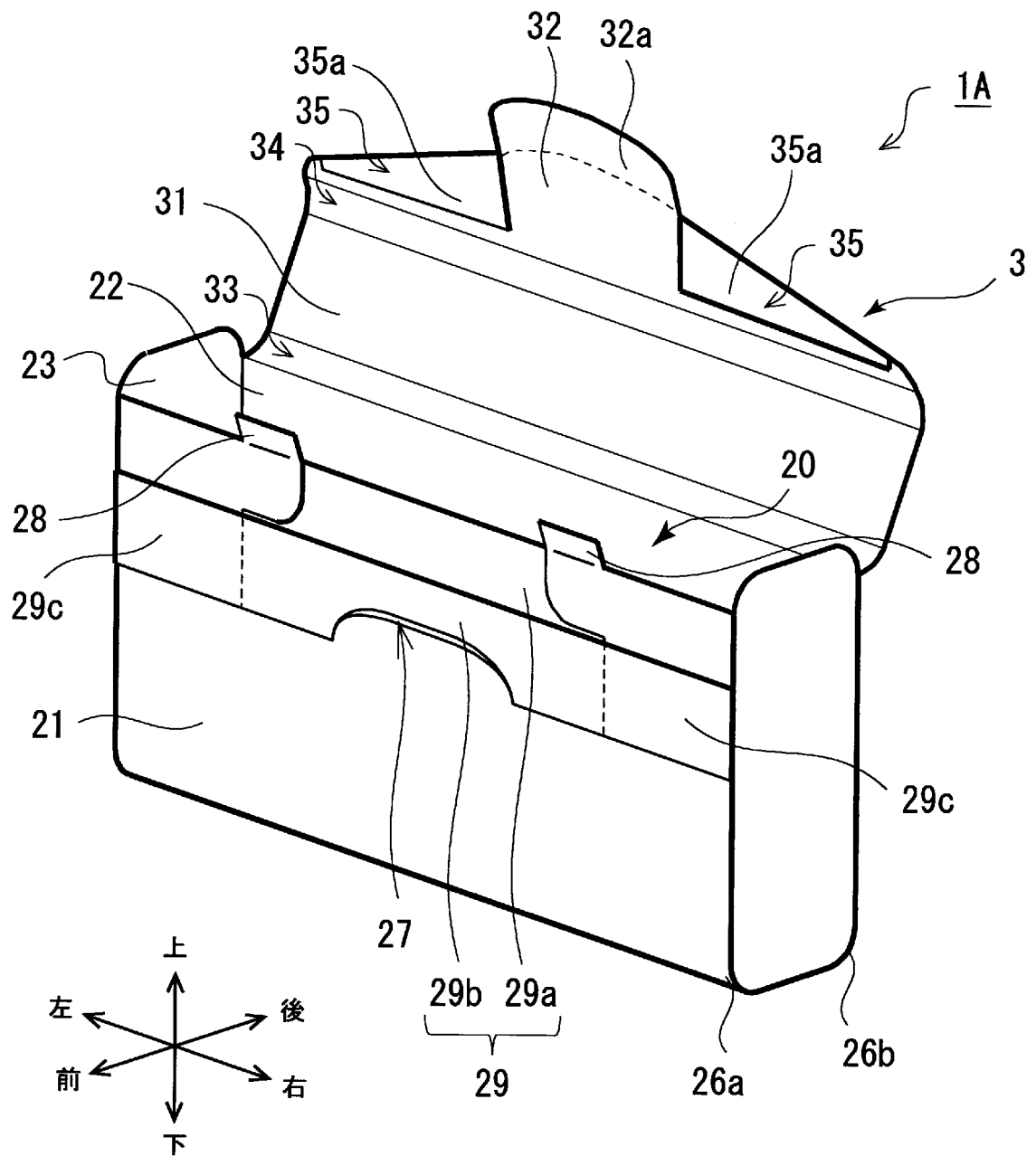
[図4]



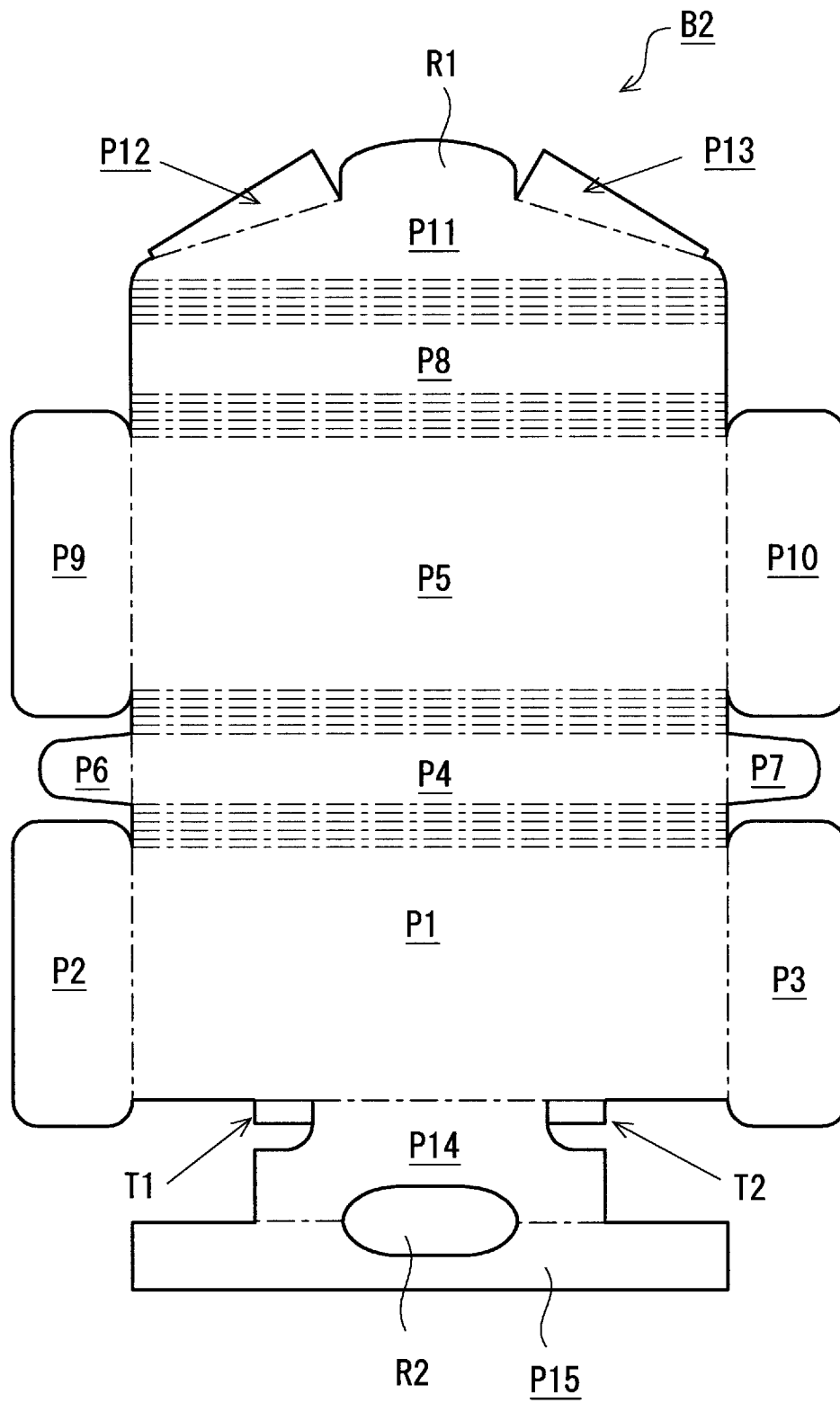
[図5]



[図7]



[図8]



INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP2012/069217

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER

B65D5/66(2006.01) i

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

B. FIELDS SEARCHED

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)

B65D5/66

Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched

Jitsuyo Shinan Koho	1922-1996	Jitsuyo Shinan Toroku Koho	1996-2012
Kokai Jitsuyo Shinan Koho	1971-2012	Toroku Jitsuyo Shinan Koho	1994-2012

Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)

C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
X Y	JP 2004-323069 A (Fuji Seal, Inc.), 18 November 2004 (18.11.2004), paragraphs [0034], [0056], [0062] (Family: none)	1, 4 2-4
Y A	JP 2008-505815 A (Cadbury Adams USA L.L.C.), 28 February 2008 (28.02.2008), fig. 1A to 1C & US 2006/0027483 A1 & EP 1765689 A & WO 2006/014443 A1	2-4 1

☒ Further documents are listed in the continuation of Box C.

☐ See patent family annex.

* Special categories of cited documents:

“A” document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance

“E” earlier application or patent but published on or after the international filing date

“L” document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)

“O” document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means

“P” document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed

“T” later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention

“X” document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone

“Y” document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art

“&” document member of the same patent family

Date of the actual completion of the international search
05 October, 2012 (05.10.12)

Date of mailing of the international search report
23 October, 2012 (23.10.12)

Name and mailing address of the ISA/
Japanese Patent Office

Authorized officer

Facsimile No.

Telephone No.

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP2012/069217

C (Continuation). DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
Y A	Microfilm of the specification and drawings annexed to the request of Japanese Utility Model Application No. 141653/1972 (Laid-open No. 096335/1974) (Sakamoto Insatsu Kabushiki Kaisha), 20 August 1974 (20.08.1974), page 2, lines 11 to 18 (Family: none)	3, 4 1, 2
A	JP 7-329956 A (Mitsubishi Plastics, Inc.), 19 December 1995 (19.12.1995), paragraph [0006] (Family: none)	1-4
A	JP 2003-291956 A (Asahi Printing Co., Ltd.), 15 October 2003 (15.10.2003), paragraph [0020] (Family: none)	1-4
A	JP 63-190020 U (Toppan Printing Co., Ltd.), 07 December 1988 (07.12.1988), fig. 1 to 6 (Family: none)	1-4
A	JP 61-19506 U (Kazunori ISHII), 04 February 1986 (04.02.1986), fig. 5 (Family: none)	1-4
A	JP 35-6757 Y1 (Kazuomi OTAKE), 09 April 1960 (09.04.1960), page 1, right column, lines 9 to 11 (Family: none)	1-4

A. 発明の属する分野の分類 (国際特許分類 (I P C))

Int.Cl. B65D5/66(2006.01)i

B. 調査を行った分野

調査を行った最小限資料 (国際特許分類 (I P C))

Int.Cl. B65D5/66

最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの

日本国実用新案公報	1 9 2 2 - 1 9 9 6 年
日本国公開実用新案公報	1 9 7 1 - 2 0 1 2 年
日本国実用新案登録公報	1 9 9 6 - 2 0 1 2 年
日本国登録実用新案公報	1 9 9 4 - 2 0 1 2 年

国際調査で使用した電子データベース (データベースの名称、調査に使用した用語)

C. 関連すると認められる文献

引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求項の番号
X	JP 2004-323069 A (株式会社フジシール) 2004.11.18, 段落【0034】、【0056】及び【0062】 (ファミリーなし)	1, 4
Y		2 - 4
Y	JP 2008-505815 A (キャドバリー・アダムズ・ユーエスエイ・エルエルシー) 2008.02.28, 【図1A】～【図1C】 & US 2006/0027483 A1 & EP 1765689 A & WO 2006/014443 A1	2 - 4
A		1

☒ C欄の続きにも文献が列挙されている。☐ パテントファミリーに関する別紙を参照。

* 引用文献のカテゴリー

「A」特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの
「E」国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの
「L」優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献 (理由を付す)
「O」口頭による開示、使用、展示等に言及する文献
「P」国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願

の日の後に公表された文献

「T」国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの
「X」特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの
「Y」特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの
「&」同一パテントファミリー文献

国際調査を完了した日

0 5 . 1 0 . 2 0 1 2

国際調査報告の発送日

2 3 . 1 0 . 2 0 1 2

国際調査機関の名称及びあて先

日本国特許庁 (I S A / J P)

郵便番号 1 0 0 - 8 9 1 5

東京都千代田区霞が関三丁目4番3号

特許庁審査官 (権限のある職員)

会田 博行

電話番号 0 3 - 3 5 8 1 - 1 1 0 1 内線 3 3 6 1

3 N

7 5 0 1

C (続き) . 関連すると認められる文献		
引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求項の番号
Y	日本国実用新案登録出願 47-141653 号(日本国実用新案登録出願公開 49-096335 号)の願書に添付した明細書及び図面の内容を撮影したマイクロフィルム (阪本印刷株式会社) 1974.08.20, 第 2 ページ 1 1 ~ 1 8 行 (ファミリーなし)	3, 4
A		1, 2
A	JP 7-329956 A (三菱樹脂株式会社) 1995.12.19, 段落【0006】 (ファミリーなし)	1 - 4
A	JP 2003-291956 A (朝日印刷株式会社) 2003.10.15, 段落【0020】 (ファミリーなし)	1 - 4
A	JP 63-190020 U (凸版印刷株式会社) 1988.12.07, 第 1 図~第 6 図 (ファミリーなし)	1 - 4
A	JP 61-19506 U (石井和則) 1986.02.04, 第 5 図 (ファミリーなし)	1 - 4
A	JP 35-6757 Y1 (大竹一臣) 1960.04.09, 第 1 ページ右欄 9 ~ 1 1 行 (ファミリーなし)	1 - 4